

# タチカワレポート

## 第65期 中間報告

平成22年 1月1日

▼  
平成22年 6月30日



 立川ブラインド工業株式会社

証券コード：7989

経営者から皆様へ



家庭に、企業に、都市の中に。  
 次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。  
 インテリア産業の一翼を担う企業として、  
 これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。  
 さて、当社は平成22年6月30日をもって第65期（平成22年1月1日から平成22年12月31日まで）上半期が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。  
 今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。  
 平成22年 9月

経営の基本方針

当社グループは、建築物の開口部、とりわけ窓まわり製品を事業の核とする建築内装品の総合メーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術、動力伝導技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、顧客の皆様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、一般消費者、取引先ならびに株主の皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

CONTENTS

経営者から皆様へ……………1  
 営業の概況……………2  
 セグメント別概況……………3  
 当社グループの事業展開……………4  
 連結財務諸表（要旨）……………5  
 New Products & Topics ……7  
 ショールームのご案内……………8  
 会社の概要……………9  
 株式情報……………10  
 株式についてのご案内

## 営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善による輸出の緩やかな増加や、政府による景気刺激策の効果などを背景に企業収益の改善が続くものの、依然として雇用情勢は厳しく、個人消費の本格的な回復までには至っておらず、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においても、一戸建て着工戸数に回復傾向が見受けられるものの、住宅着工およびビル着工環境ともに低水準のまま推移しており、当社を取り巻く環境は予断を許さない状況で推移しました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、積極的な営業活動による売上向上やコスト低減活動、生産性の向上を継続し、収益改善に努めてまいりました。駐車場装置関連事業においては、パズルタワーの販促活動を重点的に行い、安定した受注と収益の確保に努めてまいりました。減速機関連事業においては、特殊減速機の開発と生産を迅速に進め、「お客様の理想をカタチに」をコンセプトに収益体質への事業構造改革を進めてまいりました。

この結果、当該累計期間における売上高は18,672百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は534百万円（前年同期8百万円）、経常利益は590百万円（前年同期比944%増）、四半期純利益は146百万円（前年同期223百万円の損失）となりました。

### 業績の見通し

今後の見通しにつきましては、企業収益の改善が続く中で景気回復へ向かうことが期待される一方、雇用情勢には厳しさが残り、個人消費へ与える影響も懸念されるなど、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような環境の下、お客様のニーズに応え、環境に配慮した製品を引き続き開発していくとともに、さらなる売上向上を目指し、効率よく業績を伸ばすための取り組みを進めてまいります。

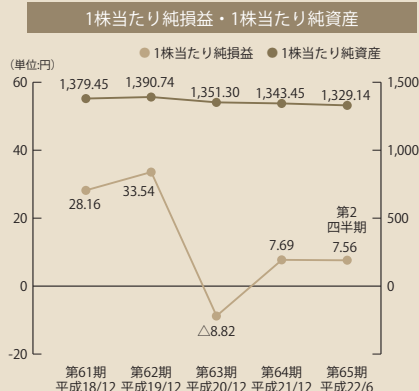
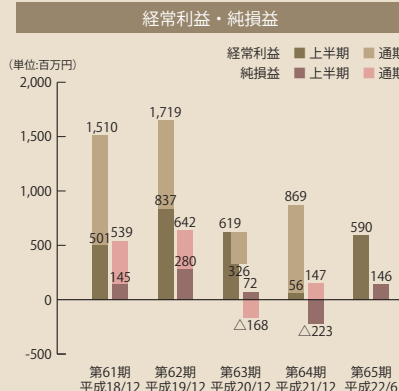
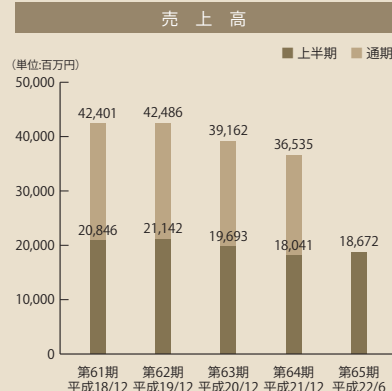
これらを踏まえ、通期連結業績予想につきましては、期初の予想の通り、売上高36,600百万円、営業利益1,000百万円、経常利益1,050百万円、当期純利益400百万円を見込んでおります。

### 中間配当金について

中間配当につきましては、安定配当を維持する基本方針に沿って、例年通り1株につき5円とさせていただきます。

尚、期末配当につきましても同様に1株につき5円、年間10円の実施を現時点においては予定しております。

## ■ 財務ハイライト



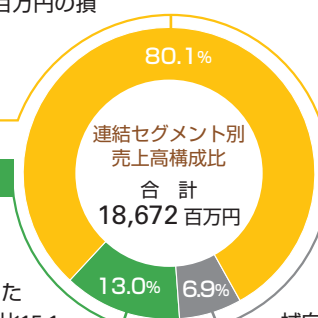
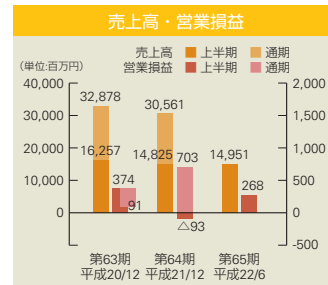
## セグメント別概況

### 室内外装品関連事業 14,951百万円

新設住宅着工戸数が依然低調に推移している厳しい事業環境の中、経営資源を効率よく活用しながら売上向上に尽力するとともに、引き続きコスト低減活動を行ったほか、新商品発表会を通して製品の市場浸透に努めてまいりました。

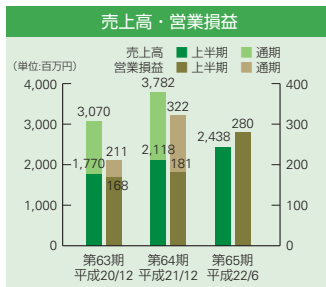
また、ブリーツスクリーン『ベルレ』では「和」シリーズを中心とした新作生地やレースでありながら日射熱の透過を抑え反射させる性能を持つレース生地「フェンス」を追加するなど、商品開発にも注力してまいりました。

売上高は14,951百万円（前年同期比0.8%増）となりました。営業利益は継続的な原価低減活動や経費抑制等による収益改善に努めた結果、268百万円（前年同期は93百万円の損失）となりました。



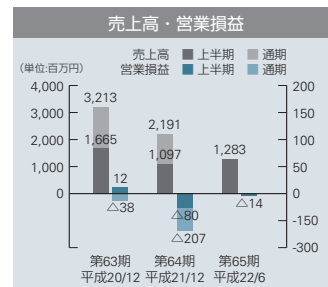
### 駐車場装置関連事業 2,438百万円

主力製品であるパズルタワーについては、計画を上回る工事の進捗があったこと、また保守ならびに改造・改修工事も堅調に推移したことにより、売上高は2,438百万円（前年同期比15.1%増）となりました。営業利益は売上高の増加に加えて、継続的な原価低減に努めた結果、280百万円（前年同期比54.1%増）となりました。



### 減速機関連事業 1,283百万円

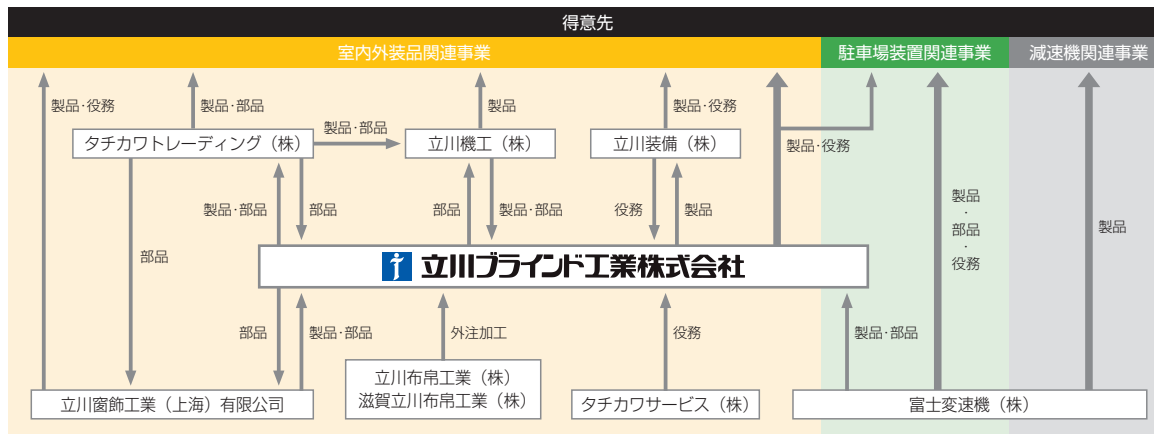
厳しい事業環境が続く中、首都圏で開催された展示会に出展するなど、お客様のニーズの把握や製品認知度の向上に努め、産業用機械向け減速機を中心に積極的な営業活動を展開したことにより、売上高は1,283百万円（前年同期比17.0%増）となりました。営業損益は生産性向上に努めたものの、展示会費用の増加等もあり、14百万円の損失（前年同期は80百万円の損失）となりました。



## 当社グループの事業展開

当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

### ■ 事業の系統図



(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

### ■ 主なグループ会社

立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
本社所在地：千葉県山武市	本社所在地：東京都渋谷区	本社所在地：岐阜県岐阜市
資本金：3億円	資本金：3億円	資本金：25億750万円
事業内容：ブラインド、間仕切等の部品 およびカーテンレールの製造販売	事業内容：ブラインド、間仕切等の据付 および関連製品の販売	事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置 および間仕切の製造販売

### ■ 事業展開の課題

- ブラインド群等の主力製品の強化と継続的な新製品開発に傾注する。
- ホームユース市場における製品の拡充と市場浸透を図る。
- カーテンレール事業に関して、全般的なクオリティの向上を推進する。
- 機械式立体駐車装置の製造・販売に加え、メンテナンス事業を強化する。
- コスト低減活動を推進し、工場等の体質革新を行い収益向上を図る。
- 製品の品質、安全性はもとより、多様化するニーズや高齢化社会への対応、環境への配慮など、継続的顧客満足を追求する。
- グループ全体の経営資源の効果的な投下と経営の迅速化を図る。



## 連結財務諸表（要旨）

### ■ 総資産

総資産は42,211百万円で、前連結会計年度末と比較し170百万円の減少。

流動資産は103百万円の減少。主に、現金及び預金が増加した一方で、物件完工に伴い未成工事支出金が減少したことによるものです。固定資産は66百万円の減少。主に、株式取得等により投資有価証券が増加した一方で、減価償却等により有形固定資産が減少したことによるものです。

### ■ 負債

負債は12,244百万円で、前連結会計年度末と比較し388百万円の減少。主に、支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

### ■ 純資産

純資産は29,966百万円で、前連結会計年度末と比較し218百万円の増加。主に、第三者割当による自己株式の処分によるものであります。なお、自己資本比率は61.3%と、前連結会計年度末と比較し、0.7ポイントの増加。

### ■ キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ832百万円増加し、7,581百万円。

#### 【営業活動】

税金等調整前四半期純利益547百万円に対し、仕入債務の減少額408百万円および売上債権の増加額308百万円等による減少があった一方で、たな卸資産の減少額769百万円、減価償却費355百万円等による増加があったことにより847百万円の収入。

#### 【投資活動】

有形固定資産の売却による収入89百万円等による増加があった一方で、投資有価証券の取得による支出153百万円等による減少があったことにより69百万円の支出。

#### 【財務活動】

配当金の支払による117百万円の減少があった一方で、自己株式の処分による収入153百万円および短期借入金の増加額27百万円があったことにより60百万円の収入。

### 連結貸借対照表

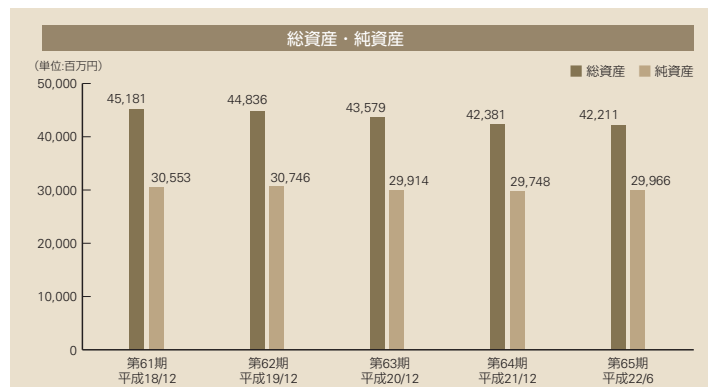
(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成22年6月30日現在	前第2四半期 平成21年6月30日現在	前期 平成21年12月31日現在
資産の部			
流動資産	24,519,056	24,247,524	24,622,209
固定資産	17,692,040	17,838,537	17,758,934
<b>資産合計</b>	<b>42,211,096</b>	<b>42,086,062</b>	<b>42,381,143</b>
負債の部			
流動負債	8,267,854	8,656,979	8,701,307
固定負債	3,976,347	3,814,907	3,931,301
<b>負債合計</b>	<b>12,244,202</b>	<b>12,471,886</b>	<b>12,632,608</b>
純資産の部			
株主資本	25,952,886	25,474,337	25,749,102
資本金	4,475,000	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,017	4,395,017
利益剰余金	17,748,681	17,442,735	17,717,516
自己株式	△ 665,795	△ 838,415	△ 838,431
評価・換算差額等	△ 82,443	66,594	△ 52,830
少数株主持分	4,096,450	4,073,243	4,052,263
<b>純資産合計</b>	<b>29,966,894</b>	<b>29,614,175</b>	<b>29,748,535</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>42,211,096</b>	<b>42,086,062</b>	<b>42,381,143</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで	前第2四半期 平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで	前期 平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	847,221	897,633	2,013,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 69,526	△ 869,476	△ 1,499,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,411	△ 119,137	△ 238,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5,278	9,664	3,616
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	832,827	△ 81,316	279,227
現金及び現金同等物の期首残高	6,748,378	6,469,150	6,469,150
<b>現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>	<b>7,581,205</b>	<b>6,387,834</b>	<b>6,748,378</b>



## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで	前第2四半期 平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで	前期 平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで
売上高	18,672,918	18,041,836	36,535,655
売上原価	11,289,860	10,835,018	21,887,946
売上総利益	7,383,058	7,206,817	14,647,708
販売費及び一般管理費	6,848,500	7,197,948	13,828,640
営業利益	534,557	8,869	819,068
営業外収益	122,591	106,786	171,180
営業外費用	66,539	59,091	120,274
経常利益	590,609	56,564	869,973
特別利益	1,286	1,513	21,418
特別損失	44,799	236,485	246,336
税金等調整前四半期(当期)純利益又は純損失(△)	547,095	△ 178,407	645,055
法人税、住民税及び事業税	348,315	173,597	485,836
法人税等調整額	△ 20,741	△ 151,094	△ 30,451
少数株主利益	73,419	22,453	42,618
四半期(当期)純利益又は純損失(△)	146,102	△ 223,363	147,053

## セグメント情報 (平成22年1月1日から平成22年6月30日まで)

(単位：千円)

	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業
売上高	14,951,143	2,438,158	1,283,617
(前年同期比)	0.8%	15.1%	17.0%
営業損益	268,744	280,262	△ 14,450
(前年同期比)	前年93百万円損失	54.1%	前年80百万円損失

## 注) 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、従来の方による場合に比べて、当第2四半期連結会計期間の売上高は290,981千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は49,136千円それぞれ増加しております。

## ■ 営業成績の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善による輸出の緩やかな増加や、政府による景気刺激策の効果などを背景に企業収益の改善が続くものの、依然として雇用情勢は厳しく、個人消費の本格的な回復までには至っておらず、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においても、一戸建て着工戸数に回復傾向が見受けられるものの、住宅着工およびビル着工環境ともに低水準のまま推移しております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、積極的な営業活動による売上向上やコスト削減活動、生産性の向上を継続し、収益改善に努めてまいりました。駐車場装置関連事業においては、パズルタワーの販促活動を重点的に行い、安定した受注と収益の確保に努めてまいりました。減速機関連事業においては、特殊減速機の開発と生産を迅速に進め、「お客様の理想をカタチに」をコンセプトに収益体質への事業構造改革を進めてまいりました。

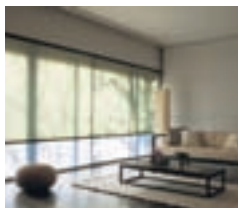
この結果、当該累計期間における売上高は18,672百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は534百万円(前年同期8百万円)、経常利益は590百万円(前年同期比944%増)、四半期純利益は146百万円(前年同期223百万円の損失)となりました。

## New Products & Topics

### New Products

ブリーツスクリーン「ペルレ」5月発売

## 素材や風合いにこだわった「和」シリーズや レースの省エネ生地「フェンス」を追加、全40柄 212アイテム



### 和シリーズ

全19柄 90アイテム

伝統的な和そのものからモダンな和まで豊富な生地のバリエーション。とっておきの部屋に。

※表紙の写真の生地は、「シラベ」を使用しています。



### 遮光シリーズ

全7柄 32アイテム

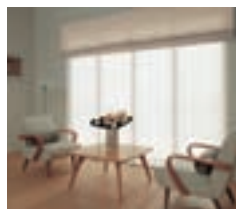
プライバシーや静謐なひとときを約束する、遮光性の高い生地のバリエーション。



### プレーンシリーズ

全8柄 59アイテム

さまざまな部屋の基調にじっくり馴染むベーシックカラーのバリエーション。カラフルな生地の中から、お好みのものを。



### レースシリーズ

全6柄 31アイテム

熱を遮る効果の高い生地を新たにラインナップ。ペアタイプにもおすすめです。

#### ■人気の「ペアタイプ」の機能性を生かした生地バリエーション

1台の製品に2種類の生地を上下に組み合わせたブリーツスクリーン「ペルレ」ペアタイプは、採光をしながらプライバシーを守る機能が評価されています。

遮蔽性の高い生地のバリエーションを増やした他、日射熱の透過を抑えるレース生地「フェンス」を追加しました。

## Topics

タチカワ  
銀座スペース **Atte**

当社のデザイン・文化・芸術活動支援の一環として、これらに携わる人々の研究・作品発表等の情報発信する多目的スペースを、平成21年5月にタチカワ銀座ショールームに開設しました。



H22.1~6 開催した主なイベント

- ・日本てまりの会「春の花」展
- ・女子美術大学「Environmental design?」展
- ・Interior 日日の書
- 他



## ショールームのご案内

G I N Z A

# 銀座

ショールーム

タチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネートの新提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。  
ご相談の予約は下記で承っておりますので、お気軽にお電話下さい。

〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル

TEL (03) 3571-1373

営業時間 10:00~18:00

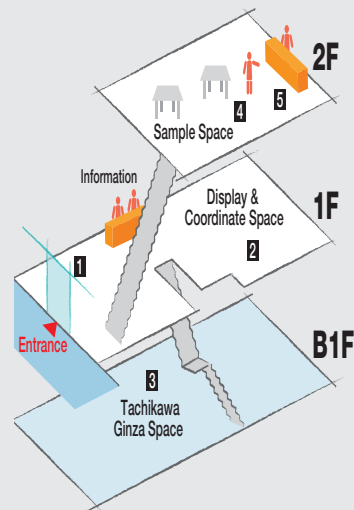
定休日 日曜・月曜・祝祭日

JR・銀座線新橋駅より徒歩5分 銀座4丁目交差点より徒歩8分



### ショールーム一覧

仙台ショールーム	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 TEL (022) 275-1311 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
名古屋ショールーム	愛知県名古屋市西区児玉3-4-4 3F TEL (052) 532-5085 定休日 日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
金沢ショールーム	石川県金沢市東力4-181 TEL (076) 291-1146 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00



製品や生地の実物サンプルを豊富にご用意しています。また、テストングウィンドウでは製品に太陽光を通したときの印象をシミュレーション頂けます。

大阪ショールーム	大阪府大阪市北区中津2-3-5 2F TEL (06) 6374-1813 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:30
高松ショールーム	香川県高松市木太町六区2662-1 TEL (087) 837-2720 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

## 会社の概要

### ■ 会社の概要 (平成22年6月30日現在)

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業(般-17)第5037号 建具工事業(般-17)第5037号 機械器具設置工事業(般-17)第5037号 建築工事業(特-17)第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話番号	(03) 5484-6100 (大代表)
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,201名 単体784名 (パート・契約社員等を除く)

### ■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン(横型)ブラインド、 パーチカル(縦型)ブラインド、 天窗用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーデオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

### ■ 連結会社

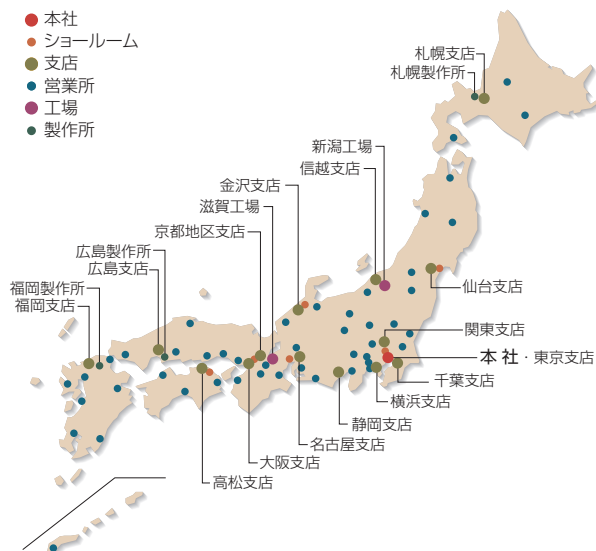
国内	
富士変速機株式会社	タチカワサービス株式会社
岐阜県岐阜市中洲町18	東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社	タチカワトレーディング株式会社
千葉県山武市松ヶ谷口2687	東京都中央区銀座8-8-15
立川装備株式会社	
東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社	
新潟県五泉市今泉709-1	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社	立川窗飾工業(上海)有限公司
滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	上海市嘉定区葉城路1630

### ■ 取締役および監査役 (平成22年9月10日現在)

代表取締役社長	立川 光 威
常務取締役	國米 利 政
取締役	竹中 伸 也
取締役	藤原 義 史
取締役	東澤 章 一
取締役	木田 敏 雄
取締役	山田 健 一
常勤監査役	河原 隆
※ 監査役	高後 元 彦
※ 監査役	坪井 節 子
※ 監査役	守内 禎 誼

(注) ※印の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

### ■ 当社ネットワーク



## 株式情報

### ■ 株式の状況 (平成22年6月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	5,292名

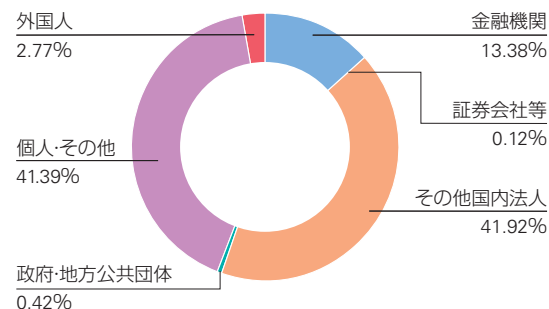
### 大株主および持株数 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
有限会社立川恒産	4,117	21.21
タチカワブラインド取引先持株会	2,012	10.36
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.85
立川 溥	613	3.16
タチカワ社員持株会	565	2.91
株式会社三菱東京UFJ銀行	553	2.85
三菱商事株式会社	470	2.42
株式会社りそな銀行	460	2.37
日本生命保険相互会社	415	2.14
立川 光威	388	2.00

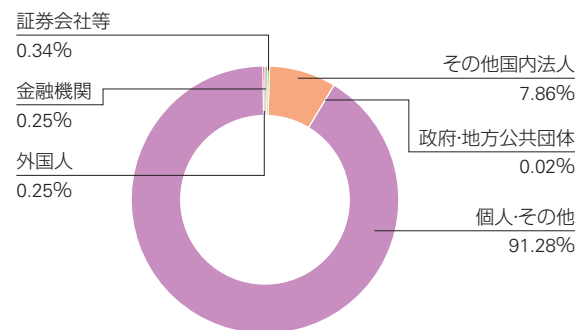
(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

(注) 2. 当社は自己株式1,299千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

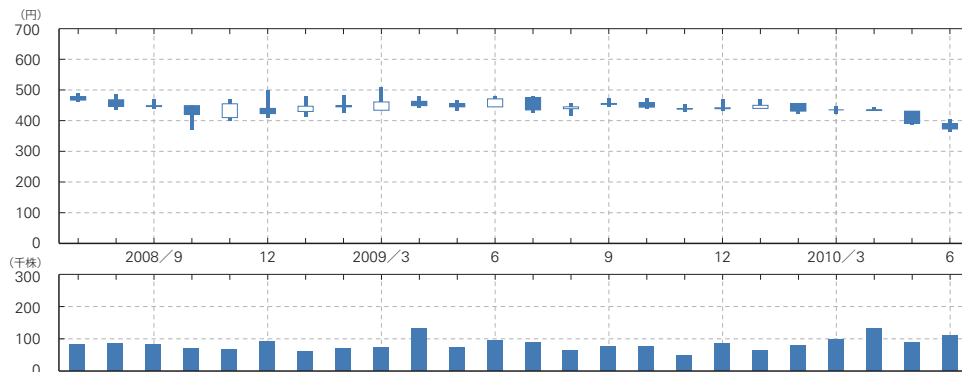
### ■ 所有者別持株比率



### ■ 所有者別株主比率



### ■ 株価および出来高の推移



## 株式についてのご案内

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日
剰余金配当基準日	12月31日（期末配当） 6月30日（中間配当）
公告方法	電子公告によります。 URL <a href="http://www.blind.co.jp/koukoku/">http://www.blind.co.jp/koukoku/</a> ※事故その他のやむを得ない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 証券代行部
特別口座管理機関	日本証券代行株式会社
単元株式数	100株

ホームページを  
ご覧ください。

当社ホームページでは決算短信などのIR情報や、当事業や製品・サービスなどさまざまな情報を発信しております。

ホームページアドレス

<http://www.blind.co.jp/>



登録情報（ご住所、配当金振込先など）の変更、その他諸手続きについて  
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。  
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

### 配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。  
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）代理人部へお問い合わせ下さい。

### 未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部までお問い合わせ下さい。

### 単元未満株式（100株未満の株式）の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。  
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

### 特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。  
注）特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設（既に開設されている場合不要）し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

### 郵便物送付先・お問い合わせ先

#### 株主名簿管理人

〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711（フリーダイヤル）  
ホームページアドレス <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

### 特別口座に関する郵便物送付先・お問い合わせ先

#### 特別口座の口座管理機関

〒137-8650  
東京都江東区塩浜二丁目8番18号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
☎ 0120-707-843（フリーダイヤル）  
ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>